

第8回全国高校生SBP交流フェア 募集要項

1. 趣旨

我が国は、少子高齢化や人口減少といった構造変化もあり、地方において厳しい状況となっています。地方によっては経済環境に厳しいところもみられますが、地方において経済の好循環が実現しなければ、「人口減少が地域経済の縮小を加速させる」という負スパイラル（悪循環連鎖）に陥るリスクが高くなります。

そして、このまま地方が弱体化するならば地方からの人材流入が続いてきた都市もいずれ衰退し、競争力が弱まることは必至です。地方において人口減少を克服し、将来にわたって我が国の成長力を確保するためにも、新たな国内外の有望成長市場を取り込みつつ地域づくりに対応できる人材の育成が急務となっています。

このため、郷土の愛情に育まれて成長した若者が自ら行動して、教養や実践的な問題解決力の習得を通じて、交渉力やコミュニケーション能力を有する「地域人材」として、リーダーシップを発揮しつつ、地域の課題に取り組み、新たな市場をも創造できる未来創造型リーダーの育成が求められています。

文部科学省は2020年7月17日に中央教育審議会の特別部会を開き、高校の普通科を3つに再編する案が示されました。これは現行の普通科に加えて地域やグローバル社会の課題解決のための学習を提供する学科をつくることを認めるものであり、私たちが必要と考える人材育成の流れでもあります。

このような背景を踏まえ、全国高校生SBP（ソーシャル・ビジネス・プロジェクト）交流フェアは、全国のSBP活動に関わる高校生を中心とした団体・グループが“取組の紹介”や“開発商品や企画の紹介・販売・発信”をしながら参加者相互の情報交換やネットワークの構築のための交流の場を提供しつつ、互いの評価等を通じてモチベーションを高めながら、さらに進化していくことを目的に開催するものです。

2. 主催

一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 「未来の大人応援プロジェクト実行委員会」

3. 後援・協力（予定）

以下は 2022年に実施された第7回全国高校生SBP交流フェアでの実績 となります。

●後援

文部科学省、内閣府（地方創生推進事務局）、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、観光庁、三重県、三重県教育委員会、伊勢市、多気町、南伊勢町、度会町、皇學館大学、伊勢市観光協会、伊勢商工会議所、伊勢度会ロータリークラブ、南伊勢町商工会、三重ニュービジネス協議会

●協力

株式会社赤福、アドビ株式会社、株式会社アンシャンテ、NT GROUP、株式会社相可フードネット、コスモピア株式会社、公益財団法人修養団、株式会社グラノ 24K、国立大学法人東京学芸大学、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、鳴海製陶株式会社、NEXCO 中日本サービス株式会社、BS よしもと株式会社、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社三重支社、合同会社プレシャスコネクション、株式会社ベネッセコーポレーション、三井化学株式会社、みらいこ株式会社、有限会社わらしべ 他

4. S B P とは

S B P とは、ソーシャル・ビジネス・プロジェクトの略称であり、高校生ら若者が主体的に地域の様々な社会的課題を市場としてとらえ、ソーシャルキャピタル（社会関係資本）の考え方に即して、ビジネス手法を取り入れながら、地域資源（ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等）の発掘・企画・開発・販売・発信等を通じて地域の課題を解決する「学びの機会」とともに、その取組を地域が関わり、応援し支えていこうというものです。

S B P は、以下のような効果と成果を期待しながら活動を展開します。これらの活動を通じて、高校生らの「郷土愛の醸成」、「地域や地元に対する魅力発見・定着」、「地域の一員として地域活性化への貢献」等を期待します。

- ・ 高校生らの若者が主体的に地域の様々な社会的課題を市場としてとらえ、地域の方々（地元住民、商工、行政、企業、N P O 等民間団体等）とその解決を目指す事業であり、①「主体性」、②「社会性」、③「事業性」、④「革新性」の 4 要件を満たしており、活動成果として地域経済の活性化や新しい雇用ビジネスの創出に寄与する効果を期待します。
- ・ 地域にある宝（地域資源）を発掘し、地域づくりに結び付けながら、自己研鑽能力を高めることを期待します。
- ・ 地域課題に対して「ビジネス」の手法を用いて創意工夫しながら実践に取り組むなかで、企画立案・プロデュース能力を習得することを期待します。
- ・ 全国の高校生ら若者との交流を通じて、広域による新たなソーシャルビジネスの展開を期待します。

S B P は、三重県多気町にある相可高校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」等を先進事例に、2013 年 4 月に三重県南伊勢高校南勢校舎で最初の S B P が立ち上がりました。そして今、この地域に根差した取組が全国に広がっており、現在約 90 の団体がそれぞれの地域で活動をしています。

5. 開催日程及び会場

プログラム 1 はオンライン開催、プログラム 2 は現地開催で実施します。

●プログラム 1：SBP アワード本選（オンライン開催）

令和 5 年 7 月 29 日（土）・7 月 30 日（日）

SBP アワードに出場する団体の取組発表をオンラインで実施します。

SBP アワードは以下の 2 つの部門があります。

① 「チャレンジ部門」

色々な取組を進める高校生たちが、その取組を発表し、客観的な評価を受けます。他校の取組に学びながら進化していくことを目的にしており、商品や地域における貢献度など取組の完成度等を評価します。第 7 回までの「SBP チャレンジアワード」と同等となります。

② 「プレミアム部門」

これまでの SBP チャレンジアワードにて「文部科学大臣賞」を受賞した取組で、現在も継続しているもの、またその取組をベースにあるいはルーツにさらに進化している取組をこの部門において発表していただきます。このプレミアム部門に参加される団体の取組は、今後、東京などで発表会を開催し、広く全国に紹介していく予定です。今回、「新設された部門」となります。

SBP チャレンジアワードに出場されない団体は見学（視聴）ができます。

【プログラム 1 の日程】

日程	時間帯	内容
7 月 29 日（土） グループ A	9:00	プログラム 1 開会式
	9:30	SBP アワード本選「チャレンジ部門」（発表 5 分、質疑応答 5 分）
	11:30	プログラム 1 閉会式
7 月 29 日（土） グループ B	13:00	プログラム 1 開会式
	13:30	SBP アワード本選「チャレンジ部門」（発表 5 分、質疑応答 5 分）
	15:30	プログラム 1 閉会式
7 月 30 日（日） グループ C	9:00	プログラム 1 開会式
	9:30	SBP アワード本選「チャレンジ部門」（発表 5 分、質疑応答 5 分）
	11:30	プログラム 1 閉会式
7 月 30 日（日） グループ P	13:00	プログラム 1 開会式
	13:30	SBP アワード本選「プレミアム部門」（発表 10 分、質疑応答 10 分）
	15:30	プログラム 1 閉会式

SBP アワード本選「チャレンジ部門」「プレミアム部門」の結果発表および講評は 8 月 6 日（日）10:00 よりオンラインにて実施します。「チャレンジ部門」では A・B・C の各グループから 2 団体ずつ合計 6 団体が選出され、「プレミアム部門」では 1 団体が選出されます。選出された団体は SBP チャレンジアワード決勝にて発表をおこないます。

●プログラム 2：SBP アワード決勝・交流会など（三重県伊勢市 皇學館大学にて開催）

令和 5 年 8 月 19 日（土）・8 月 20 日（日）

【1 日目】SBP アワードの決勝（皇學館大学の記念講堂にて取組発表）をおこないます。その後、「実践発表交流会」の中で参加団体の取組（商品の販売や作品発表）を発表しながら交流をおこないます。

【2 日目】協賛企業や団体が高校生のためにワークショップをおこないます。また大人のための交流・セミナーを同時開催します。昼食には相可高校食物調理科のお弁当（予定）をいただき、その後 SBP アワードの結果発表・表彰式、参加団体と審査員や大人との交流などをおこないます。

【プログラム2の日程】

日程	時間帯	内容
8月19日（土）	13:00	プログラム2 開会式
	13:30	SBP チャレンジアワード決勝 取組発表
	16:00	実践発表・交流会（夕食含む）
	20:00	1日目終了（バス等で宿泊先移動）
日程	時間帯	内容
8月20日（日）	09:00	ワークショップ・SBP セミナー
	11:30	昼食（お弁当）
	13:00	結果発表・表彰式（審査員交流）
	15:30	プログラム2 閉会式
	16:00	全日程終了

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては現地開催を中止し、オンラインに切り替えます。

この場合は8月20日（日）のみの開催となります。また、新型コロナウイルス感染防止のため、状況によっては飲食の提供や各団体の食べ物の出展を制限しての対応をおこないます。

6. 参加形態および参加費・宿泊について

●参加形態について

SBP 交流フェアへの参加については、SBP アワードへの出場、実践発表交流会への出展、ワークショップ・見学（のみ）から、好きな項目をお選びいただきます。

- 1) SBP アワードへの出場+実践発表交流会への出店（出展）+ワークショップ（WS）参加
- 2) SBP アワードへの出場+ワークショップ（WS）参加
- 3) 実践発表交流会への出店（出展）+ワークショップ（WS）参加
- 4) ワークショップ参加、見学

【参加形態と必要な手続き】

参加形態	参加申込 宿泊確認	SBP アワード 書類提出	実践発表 出展申込	WS・見学 希望確認
1) SBP アワード+実践発表交流会+WS	●	●	●	●
2) SBP アワード+WS	●	●	なし	●
3) 実践発表交流会+WS	●	なし	●	●
4) WS 参加、見学	●	なし	なし	●

●参加費・宿泊費について

1名あたり1,000円が必要となります。会場最寄り駅までの交通費と宿泊費は各参加団体のご負担となります。（事情によりオンラインのみの参加となった場合、費用は発生しません）

宿泊については伊勢修養団にて1泊4,000円にてお泊り頂けます。宿泊数（150名程度）に数があるため先着順で事前予約となります。それ以外の宿泊場所の確保は各団体にてご対応ください。

また、プログラム1のオンライン開催参加時はインターネット環境およびパソコン・Webカメラなどの機器が必要となります。これらの機器は各団体にてご用意ください。Web会議システムはMicrosoft Teamsを利用しますが、Web会議への参加に必要なアカウントはこちらにて用意いたします。

7. 参加対象

●参加対象者

地域と連携した持続可能なソーシャルビジネスに取り組む高校生や高校等の団体及び SBP 活動に関わる地域や企業の方、行政関係者等が対象となります。

(1) SBP の趣旨に賛同でき、SBP 活動として紹介しても良い団体

* SBP 交流フェア全日程に参加できる団体を優先します。

* SBP に限らず同様の取組をしている高校は多くあります。このフェアでは、自分たちの取組をモデルとして、他団体が同じことをしても構わないというオープンな姿勢で学び合える活動を目指しています。

* フェアの中で撮影される動画や写真は後日、当団体のホームページや SNS、各種メディアに掲載されることがあります。事前にご了承願います。

(2) その他、これから SBP 活動の立ち上げを検討されている方や取組に関心のある方等

(注記) 全国高校生 SBP 交流フェアにおける「高校生」について

下記の学校に在学している生徒とします（国立・公立・私立は問いません）。
「高等学校」「中等教育学校の後期課程」「特別支援学校の高等部」「高等専修学校」
「高等専門学校（第1学年から第3学年まで）」「その他これらに準ずる教育機関」
ただし、科目履修生、聴講生等は対象となりません。

8. 参加部門の内容

(1) SBP アワード「チャレンジ部門」への出場

① 高校生が地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する取組を行っている団体である団体の代表者など主に取り組む者が「高校生」であることが要件となります。

「高校生」以外の者が当該団体に所属又は活動に参加していても問題ありません。

② 原則としてこれらの要件を備えている取組を対象とします。

* 主体性のある取組

- ☐ 高校生が運営上の意思決定をしている
- ☐ 団体・グループの活動規約等がある
- ☐ 団体・グループの活動規約で参加者の役割が明確である

* 社会性のある取組

- ☐ 地域の課題を反映してその課題の解決に寄与している
- ☐ 活動には地域・コミュニティとのつながり「絆（きずな）」がある
- ☐ 地域行政、地元企業・団体等と連携している

* 事業性のある取組

- ☐ 事業が自立的で継続的である（取組中も含む）
- ☐ 企業・団体等と連携している
- ☐ クライアントの意見・声等を活動に反映している

＊革新性のある取組

- ☐ 新しい視点・手法を活動に導入している
- ☐ 他の取組と差別化できている
- ☐ 他の地域にも波及する可能性がある

- ③ 例外として、これまでに全国高校生 S B P 交流フェアの本アワードに応募したものであっても、発展性や継続性のある取組が見られるものについては再応募も可能とします。
- また、過去に本フェアにて三重県知事賞・審査員特別賞を受賞した団体の応募においては、第 1 次選考は免除します。(ただし、受賞時と同じ取組に限ります。また、応募資料の提出は必要となります)
- ④ 本フェアにおいて、過去に文部科学大臣賞を受賞した取組で現在も継続しているもの、またその取組をベースにあるいはルーツにさらに進化している取組は「プレミアム部門」での出場をお願いし、SBP のモデル的な取組として広く PR していきます。

(2) S B P アワード「プレミアム部門」への出場

※「プレミアム部門」については「チャレンジ部門」の要件が含まれたものとします。

- ① これまでの全国高校生 SBP 交流フェアにおいて「文部科学大臣賞」を受賞され、現在も継続している取組。またその取組をベースに、あるいはルーツにさらに進化している取組をこの部門において発表していただきます。このプレミアム部門に参加される団体の取組は、今後、東京などで「全国高校生 SBP プレミアムステージ」(仮称)を開催し、SBP のモデル的な取組として広く全国に紹介していく予定です。
- ② 原則として、「チャレンジ部門」と同様に「主体性のある取組」「社会性のある取組」「事業性のある取組」「革新性のある取組」の 4 つの要件を備えている取組を対象とします。

(3) 実践発表交流会への出展

実践発表交流会は、SBP の実践発表会の場合として物品の展示や販売・劇やダンス・映像を使った発表などをおこないながら、参加する高校生、関係者らと交流します。出展を希望される団体についてはそれぞれの発表の仕方を調整の上、実施いただきます。

＊第 4 回では、三重県伊勢市駅近くにある「しんみち商店街」にて夜の市、第 5 回・第 6 回ではオンライン交流会、第 7 回では皇學館大学(芝生広場)にて交流会を実施しました。

(4) ワークショップの参加と見学 (SBP チャレンジアワード・実践発表交流会の視聴)

SBP の取り組みや SBP 交流フェアを応援してくださっている協賛企業・団体が、高校生のために動画やアート、レクリエーションなどのワークショップを実施します。また、SBP チャレンジアワードの視聴や実践発表交流会への参加もできます。

＊これまでの SBP 交流フェアでは動画や“S の絆焼き”体験、CM 作成、トートバッグ、T シャツづくり、壁画作成、SDGs セミナー、レクリエーションなどをおこなっています。

＊同時時間帯にて大人の方(引率、関係者など)へ向けた SBP セミナーも開催します。

9. SBP アワードでの審査方法・応募・発表内容・表彰について

(1)「チャレンジ部門」審査方法

① 第1次選考 書類審査

応募団体からの提出書類及び活動紹介動画と実行委員会が必要に応じて提出を求める資料・書類・活動動画について書面審査を行い、本選考基準に基づいて参加団体（20団体程度）を選考します。※活動動画は提出任意

② 第2次選考 SBP アワード本選

第1次選考で選ばれた団体はA、B、Cブロックに分かれそれぞれの本選（オンライン）にて発表をおこないます。発表内容は審査員が絶対評価を行い、それぞれ『極』（90点以上）、『輝』（75点以上、90点未満）、『雅』（50点以上、75点未満）の評価を行います。

また、各ブロックの上位2団体、計6団体については決勝（現地）への出場団体として決定します。

審査については、以下の項目を基準に総合的に審査します。

- i) 取組に関すること 「主体性」「社会性」「事業性」「革新性」
- ii) 当日の発表に関すること 「発表の内容と方法の工夫」「質問への応答」

(2)「プレミア部門」審査方法

① 第2次選考 SBP アワード本選 ※第1次選考はありません

応募した団体はPブロックとして本選（オンライン）にて発表をおこないます。発表内容は審査員が絶対評価を行い、それぞれ『ゴールド』（90点以上）、『シルバー』（75点以上、90点未満）、『ブロンズ』（50点以上、75点未満）の評価を行います。

また、各ブロックの上位1団体については決勝（現地）への出場団体として決定します。

審査については、以下の項目を基準に総合的に審査します。

- i) 取組に関すること 「主体性」「社会性」「事業性」「革新性」
- ii) 当日の発表に関すること 「発表の内容と方法の工夫」「質問への応答」

(3)応募に当たっての留意事項

- ・ 地域（住民・市民活動団体、NPO等民間団体、企業、商工団体等、役場等の行政）との協働関係のもと、地域課題解決をテーマとした取組や、地方創生につながる取組であること。
- ・ スマートフォンやタブレットなどで撮った1分程度の取組紹介映像の提出。動画提出は任意ですが書類審査における加対象となります。また、ホームページ上で学校紹介、取組紹介等と合わせて紹介させていただきます。
- ・ 応募に当たって参考になる資料（メディア掲載情報、パンフ・チラシなど）がありましたら、申し込み時に一緒に提出ください。送付方法などは別途案内致します。
- ・ ご提供いただいた情報及び今後御提供いただく情報の利用目的は、次のとおりです。
 - ① ご本人・団体の確認
 - ② 応募の受付、審査及び審査結果の通知・発表（団体名、代表者名、取組名、活動内容等の応募用紙の情報をホームページ等で公表することがあります）
 - ③ アンケートの実施等による調査・研究及び参考情報の提供
- ・ 審査内容についての個別の問い合わせには応じられません。また、応募書類等の返却はいたしません。虚偽の事実や盗用等が判明した場合は、結果発表後においても受賞を取り消すことがあります。

- ・ 応募プランに関する全ての権利（著作権、肖像権、特許権、商標権等）については、必要に応じて予め応募者が行ってください。これらの権利に関して第三者から異議や請求等があった場合は、応募者の責任において処理していただきます。

(4) 応募後の連絡

提出いただいた書類をもとに、開催趣旨と上記アワードの基準に沿って事務局で選考をし、結果をお知らせいたします。なお、提出いただいた書類の内容について不明点等がある場合は再提出を依頼することもあります。

(5) 発表内容

① SBP アワード本選

発表内容は、1. 団体名、2. 取組名（事業名）、3. 取組内容です。

Web 会議システムを使ったオンラインでの発表となり、取組内容などを自由に発表していただきます。審査時間は、チャレンジ部門が各団体それぞれ説明（5 分）、質疑（5 分）、プレミアム部門が各団体それぞれ説明（10 分）、質疑（10 分）となります。

当日の通信や機器不具合を回避するために、発表の一部は動画であらかじめ録画し、当日に利用します。団体ごとの発表場所・環境については各団体にてご準備ください。

② SBP アワード決勝

発表内容は、1. 団体名、2. 取組名（事業名）、3. 取組内容です。決勝は皇學館大学の記念講堂にて登壇して発表頂きます。審査時間は、団体それぞれ説明（10 分）、質疑（10 分）計 20 分です。なお、発表でプレゼンテーションソフトを使用する場合は、Microsoft Office の Power Point（最新版）を使用します。

(6) 表彰の種類

「チャレンジ部門」

最優秀賞として文部科学大臣賞、優秀賞として三重県知事賞を授与するほか、審査員特別賞、各協賛企業の特別賞を授与する予定です。

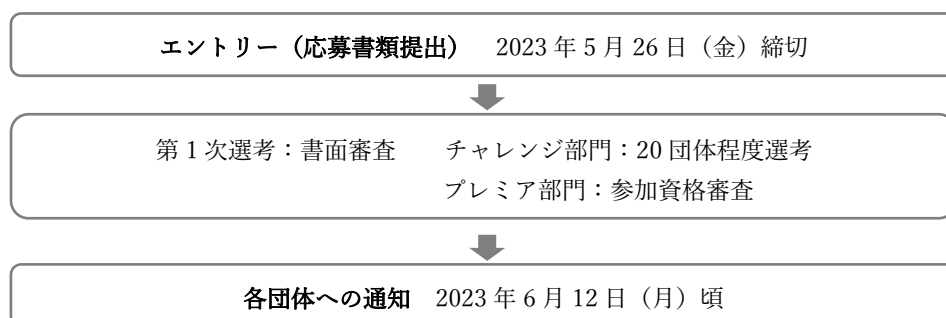
「プレミアム部門」

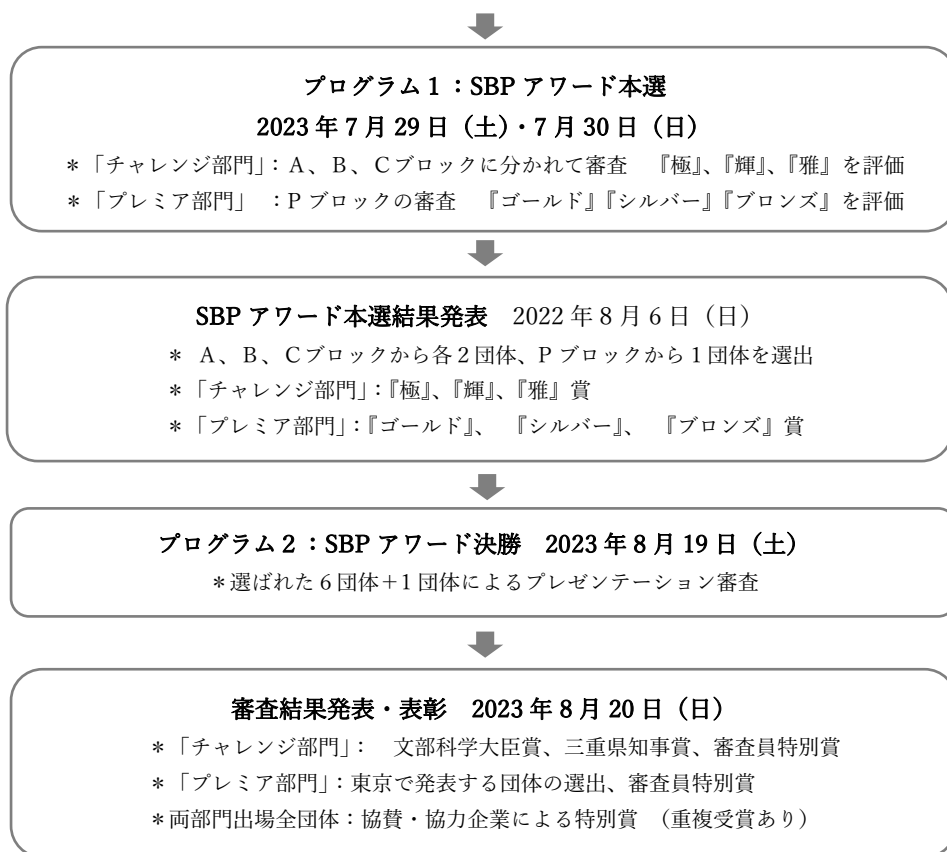
優秀な取組として選ばれた団体（複数あり）は、SBP 交流フェア終了後、東京の会場にて、後援団体や協賛企業の前で取組発表をしていただく場を設けます。

また、審査員特別賞、各協賛企業の特別賞を授与する予定です。

(7) エントリーからの流れ

エントリーからの流れは、次の通りです。





10. 応募について

（1）期間について

第8回全国高校生 SBP 交流フェアへの参加申込（実践発表交流会、ワークショップ、見学のみ）は2023年6月末までとなります。それ以降の申し込みについては、参加団体としてのパンフレットへの掲載ができません。

また、SBP アワードについては応募締め切りが2023年5月26日（金）となりますのでご注意ください。

（2）応募方法

「未来の大人応援プロジェクト」ホームページのSBP交流フェアのページからお申込みください。お申し込み後に、専用のIDを発行致します。その情報を利用して審査資料の提出をお願い致します。URLはこちらです。<https://mirai-otona.jp/sbpfair2023/>

（3）その他

参加を検討しているが確定できない条件などがある場合などお困りの場合はご相談ください。不確定の場合でも、先にお申込みいただくことをお勧めします。（万が一参加が辞退になった場合は、調整させていただきますのでご安心ください。）

SBP 交流フェア開催中に関係者が撮影した写真や動画につきましては、広く SBP 活動を紹介するためホームページ等で公開し利用させていただきます。また、パンフレットに参加校（見学を含む）を掲載しますので写真や紹介文章を用意ください。

11. お問い合わせ先

未来の大人応援プロジェクトホームページ (<https://mirai-otona.jp/>) にてご確認いただき、
ご不明な点は下記にご連絡ください。

お問い合わせ先

未来の大人応援プロジェクト実行委員会 事務局 担当：山岡 茂治、岸川 晃大

メールアドレス： sbpfair@mirai-otona.jp

電話：070-3824-8843（山岡携帯）、080-3829-1413（岸川携帯）

住所：〒516-0074 三重県伊勢市本町 8-11